

# 瀬戸内市

## 課題

- 1 旅行者の多様化する価値観やニーズを捉え、地域資源を活用した他地域との差別化や固有の観光イメージの創出。
- 2 CO2エネルギー消費の構成比割合の高い運輸部門におけるCO2排出削減の取組推進。



## 調査事業の概要

### 1 観光における自転車利用

- ・交通量の少ない農道等を活用した自転車観光ルートを検討し、観光施設等を周遊する自転車観光マップを作成。
- ・携帯端末・GPS、インターネット等を使った自転車移動支援ツールを検討。
- ・自転車ツーリングイベントを開催し、自転車観光マップ、自転車移動支援ツールの使い勝手を検証。
- ・観光地において、自転車タクシーの乗車実験を実施し、観光客の評価、地域交通環境への適応性及び導入可能性を検証。
- ・観光客、宿泊施設及び飲食店を対象として、アンケート調査を実施し、自転車による観光ニーズを調査。

### 2 自転車通勤への転換

- ・市内企業100社及び主要7企業の従業員に対して、アンケートとヒアリングを実施し、自転車通勤に対するニーズや課題等を調査。
- ・自転車通勤の走行距離に基づき、ガソリン削減換算し、CO2削減量を算出する自転車版カーボンオフセットを検証

### 3 瀬戸内市bike biz推進協議会の設置

- ・行政、市民、企業、学識経験者等による協議会を設置。

## 実現を目指していく地域のイメージ

年間を通じて気候が温暖で好天日数が多いという地域特性を活かし、近距離の通勤や買い物などの個々の日常生活や観光などの地域経済活動の中に「自転車」を積極的に取り入れることにより、エコでスマートなライフスタイルとまちづくりを行う。

## 対応策の提示

### 〈これまでのノウハウ、対応策〉

- ・観光振興計画に基づき、プロモーション活動、地域の歴史や文化に起因するイベント、市内モデルコースや近隣市町と連携した広域モデルコースの設定など多様な取組を実施。
- ・CO2排出削減は、行政と事業者の連携による「街ごとノーカーデー」を実施しているが、取組内容や取組レベルが様々で、事業者との連携・調整が進んでいない。

### 〈調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策〉

- ・観光の自転車利用ニーズは非常に高く、自動車で訪れる方には、乗り捨て可能なレンタサイクルシステム、携帯端末等と連動した観光マップ、観光ガイドが重要。自転車で訪れる方には、ツーリングイベント、スポーツサイクル用バイクスタンドや修理等のサポート体制が重要。自転車タクシーは、運営面から地域生活交通の一部として活用も必要。
- ・自転車通勤は、安全面等に対するネガティブ意識を払拭するため、自転車のメリット等を積極的に情報発信、自転車通勤を奨励している企業や従業員と連携した取組みなど、ソフト面を中心に自転車に乗りたくなる環境づくりが重要。

### 〈今回の調査により得られた新たな課題〉

- ・乗り捨て可能なレンタサイクルシステムや自転車店等との連携体制の構築、情報発信の拠点整備が課題。
- ・駅前の駐輪場の整備、夜間対策、自転車通勤に取り組むインセンティブとなる仕組みと企業との連携体制の構築が課題。



